



## 三六災害を語り継ぐ会・ 慰霊祭が開催されました



大西山が崩壊したあの日と同じ6月29日、大鹿村交流センターで「三六災害を語り継ぐ会」が、大鹿慰霊碑・文満慰霊碑では「慰霊祭」がおこなわれました

地元の小学生・中学生を始め220名以上の来場者で満席となった会場では、50年前にこの地でなくなられた55名と東日本大震災の被災者を追悼して、来場者全員で黙祷が捧げられました

当時を知る今井さんからは、「今でも使っている被災時にもらった鍋、まな板、お椀の3点セットは、当時お世話になったことを忘れにないよういつも語りかけてくれる。小中学生の皆さん、どんなとき、どんなことにいきあうか分からないので、それを乗り越えるだけの丈夫な体を作ってほしいです。」とメッセージが送られました

大鹿中学校の阪村さんは19日に開催されたシンポジウムでの演劇舞台に参加した経験から、「また同じことが起きないようこの災害を忘れてはならないと思う。これからどれだけ時間がたってもこの災害を忘れてはならないと思う。力を合わせて良い村にしていましよう」と心強い思いが述べられました

この後、国県が実施する防災対策の説明・専門家から災害に強い山づくりなどについて講演も実施され、三六災害の記憶・防災への意識などは次世代へと引き継がれ、閉会となりました



今井 積さん【災害後の思い出の生活用具と】



犠牲者を追悼して黙祷



小中学生に語りかけながら  
講演される北澤秋司先生



「未来へのこそう大鹿村」  
大鹿小学校生徒 作



大鹿中学校 阪村 明希子さんの発表

語り継ぐ会の閉会后、  
三六災害犠牲者への献  
花・焼香が行われました

この日は50年前とは  
違い、気持ちの良い夏  
空となりました



大鹿慰霊碑、文満慰霊碑への献花・焼香